

東浦町国民健康保険データヘルス計画中間評価 概要版

第2期 平成30年度～令和5年度

1 計画の期間と評価

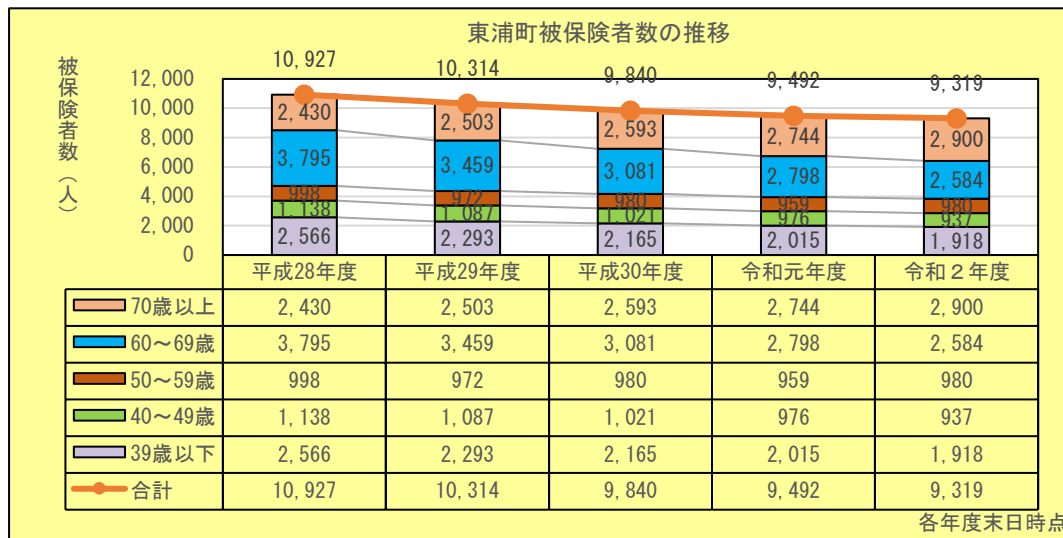
東浦町国民健康保険データヘルス計画（第2期）の期間は、平成30年度から令和5年度までの6年間とします。令和3年度は平成30年度から令和2年度までの実績を基に中間評価を実施しました。

2 東浦町の現状と分析

【被保険者数の状況（平成28年度～令和2年度）】

令和2年度末日時点における町の人口は、50,368人、うち被保険者数は9,319人、国保加入率は18.5%になっています。

この5年間の被保険者数は、年々減少しています。また、令和4年度の社会保険適用拡大の影響により被保険者数は、さらに減少すると推測されます。年齢構成別では、0歳から69歳の被保険者数は減少、70歳以上の被保険者数が増加しており、全体の31.1%になっています。

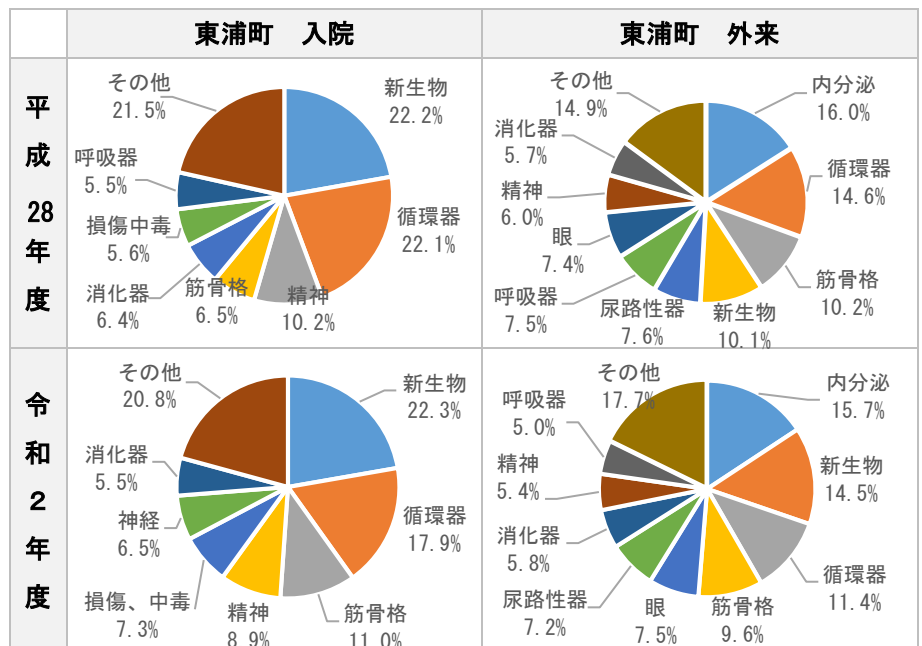


(出典：国保データベースシステム)

【疾病分類別医療費の割合（平成28年度・令和2年度）】

平成28年度と令和2年度ともに、入院では、肺がんや胃がんなどの「新生物」、虚血性心疾患や脳梗塞などの「循環器」が上位を占めています。

外来では、糖尿病や脂質異常症などの「内分泌」の割合が変わらず最も多いです。それに続いて、令和2年度では「新生物」が14.5%を占めており、がん治療等にかかる外来の医療費の割合が増加していることがわかります。



(出典：国保データベースシステム)

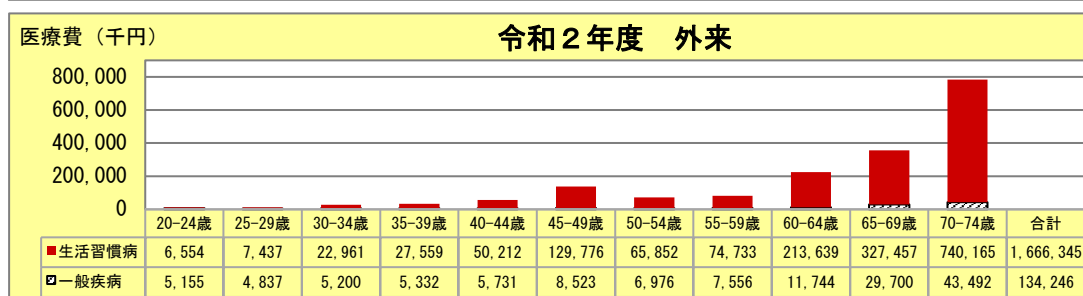
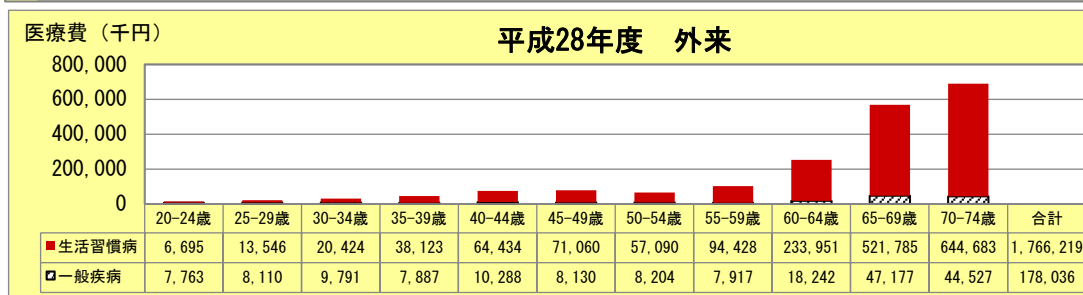
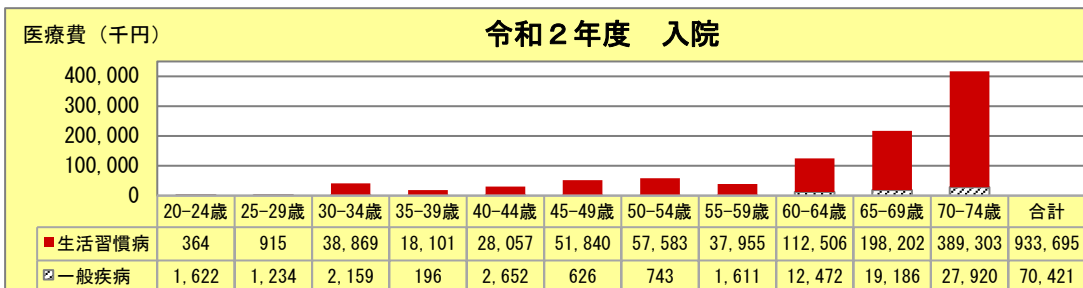
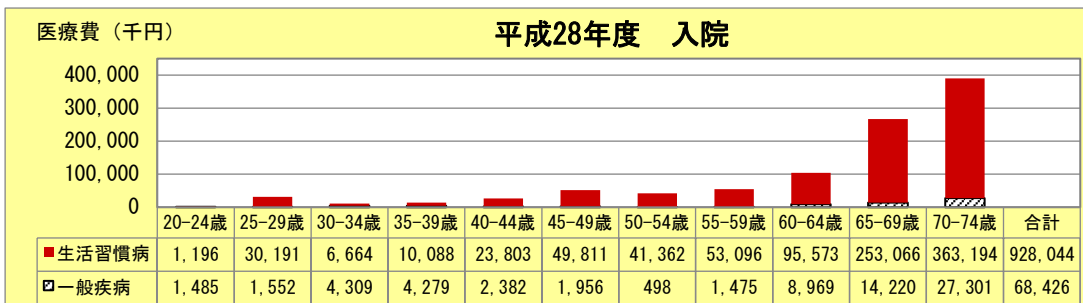
【年齢区分別医療費（平成28年度・令和2年度）】

〔入院〕

平成28年度と令和2年度の入院の医療費を比較すると、全体的には大きな変化は見られませんが、20歳から29歳までの生活習慣病の医療費が減少し、30歳から34歳の生活習慣病の医療費は5.8倍に増えています。

〔外来〕

平成28年度と令和2年度の外来の医療費を比較すると、全体的には大きな変化は見られませんが、45歳から49歳では生活習慣病の医療費が増額しており、59歳以下の年齢区分の中で最も高額となっています。



（出典：AICube）

【細小分類別医療費割合（平成28年度・令和2年度）】

東浦町国民健康保険の総医療費のうち、細小分類別医療費の割合は、平成28年度・令和2年度ともに、上位は糖尿病、高血圧症、慢性腎不全（透析あり）です。上位3疾病の割合は、16.5%から13.3%と減少しています。

平成28年度			令和2年度		
順位	疾病名	割合（%）※	順位	疾病名	割合（%）※
1位	糖尿病	6.9	1位	糖尿病	6.2
2位	高血圧症	5.6	2位	高血圧症	3.9
3位	慢性腎不全（透析あり）	4.0	3位	慢性腎不全（透析あり）	3.2

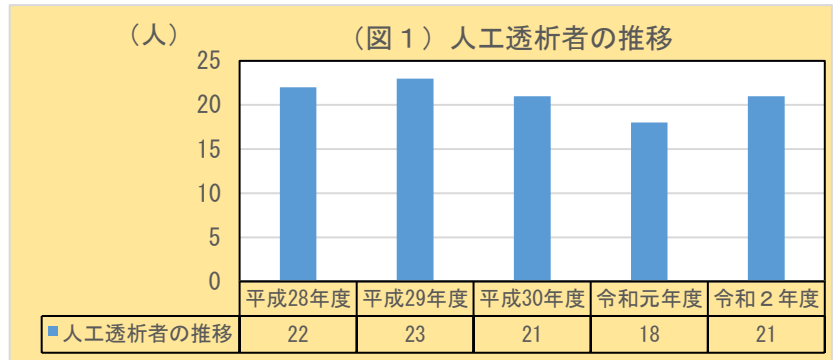
※全体の医療費（入院+外来）を100%とした場合

（出典：国保データベースシステム）

3 重点保健事業

【糖尿病性腎症重症化予防プログラム】

東浦町の国民健康保険加入者で糖尿病性腎症による透析者は、平成28年度から令和2年度までを比較すると、転入、転出、社会保険からの変更による透析者の増減のみです。また、糖尿病性腎症重症化予防プログラム該当者の新規透析導入患者数は、令和2年度まで0人です。



(出典：保険医療課)

【年度別糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者医療機関への受診実績】

年度ごとに当初の特定健康診査受診率を令和元年度と比較した結果、平成28年度は受診率12.9%増、平成29年度は8%増、平成30年度は21.4%増、令和元年度は20%増になりました。定期的にレセプトで医療機関への受診状況を確認することやフォローアップしながら受診勧奨を継続することで、健康診査の重要性と早い段階から対処し重症化を抑える等、勧奨や保健指導が成果に繋がっています。

平成28年度

年度末実績	腎症病期3期以上			腎症病期2期以下		
	対象数者	受診数	受診率	対象数	受診数	受診率
平成28年度	11	6	54.5%	11	8	72.7%
平成30年度	11	9	81.8%	11	9	81.8%
令和元年度	8	6	75.0%	11	6	90.9%
令和2年度	8	7	87.5%	11	11	100%

令和元年度

年度実績	腎症病期3期以上			腎症病期2期以下		
	対象数	受診数	受診率	対象数	受診数	受診率
令和元年度	2	1	50.0%	8	7	87.5%
令和2年度	1	1	100%	7	7	100%

(出典：保険医療課)

4 保健事業の成果および見直し結果

項目	実績値 (平成28年度)	中間実績 (令和2年度)	最終目標 (令和5年度)	最終目標 見直し結果
(1) 特定健診受診勧奨事業				
啓発物品等	年1回	年1回	年1回以上	事業内容の変更
啓発ポスター	年1回	年1回	年1回以上	修正なし
日程の周知	年2回	年2回	年2回以上	修正なし
受診しやすい環境づくり	実施	実施	実施	修正なし
未受診者への勧奨	年2回	年2回	年2回以上	修正なし
特定健診受診率	58.9%	51.9%	62.0%	修正なし
健診前の若年者への勧奨 ※令和4年度より新規事業へ変更	年1回	年1回	—	事業内容の変更
【新規】 40～50歳代の対象者への リーフレット送付	—	—	年1回	新規設定

項目	実績値 (平成28年度)	中間実績 (令和2年度)	最終目標 (令和5年度)	最終目標 見直し結果
(2) がん検診受診勧奨事業				
胃がん検診、肺がん検診、 大腸がん検診の勧奨	年1回	年1回	年1回	修正なし
乳がん検診の勧奨	年1回	年1回	年1回	修正なし
子宮頸がん検診の勧奨	年1回	年1回	年1回	修正なし
前立腺がん検診の勧奨	年1回	年1回	年1回	修正なし
町広報紙に申込票を 同封して配布	年2回	年2回	年2回	修正なし
無料クーポンの送付による 受診勧奨(大腸がん・ 乳がん・子宮頸がん)	年1回	年1回	年1回	修正なし
胃がん検診受診率	10.2%	4.7%	50.0%	修正なし
肺がん検診受診率	31.4%	15.5%	50.0%	修正なし
大腸がん検診受診率	14.6%	6.8%	50.0%	修正なし
乳がん検診受診率	14.8%	7.6%	50.0%	修正なし
子宮頸がん検診受診率	13.0%	5.7%	50.0%	修正なし
前立腺がん検診受診率	7.7%	8.4%	50.0%	修正なし
(3) 特定保健指導実施勧奨事業				
特定健診の結果返却と 初回面接の一括実施	68.5%	69.4%	100%	新規設定
効果的な指導の実施 (指導技術の向上ための研修を 年1回以上受講)	—	2回	年1回以上	新規設定
保健指導終了率	60.9%	63.4%	62.5%	上方修正
メタボ該当者率	19.2%	22.8%	19.2%未満	下方修正
(4) 意識啓発事業				
医療費通知の送付	年6回	年6回	年6回	修正なし
ジェネリック医薬品差額通知の送付	年2回	年2回	年2回	修正なし
ジェネリック医薬品の使用率 (数量シェア)	—	78.5%	80.0%	修正なし
健診事後教室の開催(町主催)	1教室	2教室	年1教室以上	修正なし
あいち健康プラザ開催講座 の受講料助成(プラザ主催)	16人	0人	↑ ※	新規設定
1人当たり医療費	23,031円	25,940円	↓ ※	下方修正

※最終目標の「↑」は中間実績よりも増加、「↓」は中間実績よりも減少を表しています。